

女性崇拜

岡本かの子

青空文庫

西洋人は一體に女性尊重と見做されているが、一概にそうも言ひ切れない。歐州人の中でも一番女性尊重者は十指の指すところ英國人であるが、英國人の女性尊重は客間だけの女性尊重で、居間へ入ると正反対だという説がある。

事実、英國人ぐらゐ文筆上で女性に対し諷刺や皮肉を弄し、反感を示している國民は少い。バーナード・ショウの如きも「人と超人」で、女性は魅力に依つて男から種の胚子を奪い取り、次の時代の超人を造ろうとする自然の意図を無意識で執行する盲目の使途であるというように書いている。

英國の俱樂部の発達というものが、家庭における主婦の形式的女權の窮屈から發達したものだという話もある。

そうかと思うと、それほどけばしく女性尊重を放送しないフランス人が、家庭は全く主婦の女王の傘下に従順に温まつて易々諾々である。フランス人に言わせるとこの方が生活にも人生にも利口なやり方だと言う。

武士道と言えば、女は眼中にないような風に言われながら、正妻となるとなかなか格式を与えて十分な権利を主張せしめている。淀君にうつつを抜かした秀吉が、北の

政^{まんどころ}所^にに對する態度などにみても相当彼女を立ててあるところがある。

フェミニストにもいろいろある。全然女性なるものを知らない理想主義風に尊敬するものもあれば、変態的の性格から女性にへりくだるものもある。また「英雄が女性の胸に額^{こし}をつけるとき、遠き星^{さきや}の囁きを聴く」事業上の靈感^{こうぱいしゃ}の交媒者^{こうばいしゃ}として女性に神秘を感じ、フェミニストたるものもある。ジョセフインに対するナポレオンはそれであつた。

兎^とに角^{かく}真のフェミニストは質的のものだ。女性から言えば、弱々^{よわよわ}しくフェミニストたらざるを得ない男性より昂然^{こうぜん}としていても、女性に理解力ある男性の方が見込みがある。

青空文庫情報

底本：「愛よ、愛」パサージュ叢書、メタローグ

1999（平成11）年5月8日第1刷発行

底本の親本：「岡本かの子全集 第十二巻」冬樹社

1976（昭和51）年9月20日初版第1刷発行

初出：「読売新聞」

1936（昭和11）年1月20日

※「易々諾々《いいだくだく》」の表記について、底本は、原文を尊重したとしています。

入力：門田裕志

校正：土屋隆

2004年3月30日作成

2013年10月5日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://wwwaozora.gr.jp/>) に作られ

ました。入力、校正、制作にあたつたのは、ボランティアの皆さんです。

女性崇拜

岡本かの子

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>